

はじめての 「決算書入門」講座



講義編

中小企業研修協会

• 短時間で効率的に学ぶ

はじめての「決算書入門」講座の講義編は、忙しい社会人や学生が、短時間に「決算書」を学ぶための入門書です。このため、つぎのような工夫をしました。ひとテーマごとにポイントをしぼり、短く簡潔な構成にしました。たとえば、朝の通勤時間に1テーマ。夜の帰宅時間で1テーマというようなペースでどんどん読んでいけます。だれでも効率的に学べる「決算書」の入門書です。

• わかりやすい身近な例

この講義編は、難しい会計の専門用語は使わず、わかりやすい身近な例をつかって書いています。このため、はじめて「決算書」を学ぶ初心者は、読みやすさを実感できるはずです。

これまでの決算書の本は、分量が多く難しい会計学の専門用語を使って説明されてきました。このため、初心者は途中でイヤになり、読むのをあきらめてしまうケースが多かったようです。また、一つのテーマごとの文章が長く、専門的で退屈な内容だったことも一因でしょう。

この講義編は、これらの実情を踏まえ、テーマごとに簡潔です。読者のみなさんは、退屈する前に読み終わるはずです。

私の経験上、ビジネス書は、分量のある本をたくさんの時間をか

けて読むよりも、短い時間を有効に使って、どんどん読み進む方が確実に定着します。

この講義編の内容を理解すれば、決算書の基本知識は十分です。

私たちは、執筆にあたり、いかに読者のみなさんが、苦勞することなく、気軽に、しかも簡単に「決算書」を理解することができるかを考え続けました。その答えが、短い時間をつかって学べる講義編の編集でした。

この講義編で、スキルアップして下さい。この講義編が、みなさんに活用され、有意義なものとなれば、編集部にとって望外の喜びです。

監修 伊達 敦
中小企業研修協会 編集部

もくじ

決算書編 6

「決算書」の基本を知る

- 決算書とは何か
 - ・ 会社の「成績表」がわかる
- さまざまな決算書の活用法
 - ・ 決算書は、どのように活用されているのか
- 決算書の種類とは
 - ・ 決算書とは、大きく3つの種類があります

貸借対照表編 11

「会社の財産」を知る

- 貸借対照表とは何か
 - ・ 会社の「全財産」がわかる
- 資産とは何か
 - ・ 資産とは、会社の財産です。
- 貸倒引当金とは何か
 - ・ 債権回収リスクに対する保険
- 負債とは何か
 - ・ 負債とは「会社の借金」です。
- 純資産とは何か
 - ・ 純資産とは、会社の「純粋な財産」です。

コラム 貸借対照表でわかる「資金運用」と「資金調達」

損益計算書編 26

「営業成績」を知る

- 損益計算書とは何か
 - ・ 会社の営業成績がわかる
- 5つの利益とは何か
 - ・ つながりあう5つの利益
- 販売費及び一般管理費とは何か
 - ・ 会社の経費がわかる
- 減価償却費とは何か
 - ・ 資産価値の減少分です

株主資本等変動計算書編 44

- 株主資本等変動計算書とは何か
 - ・ 会社の特色と経営姿勢がわかる

決算書

決算書編

決算書編

「決算書」の基本を知る

決算書とは何か

会社の「成績表」がわかる

学生は、日々の勉強の成果を学期ごとの「通信簿」で知ることができます。数学の点数が悪かった。あるいは、国語の点数が良かった、というように自分の苦手科目や得意科目がわかります。

悪かった科目は、重点的に勉強しなければなりません。良かった科目は、さらに努力し伸ばすべきでしょう。

自分では、よくできたつもりでも、意外に通信簿が悪かった経験のある人も多いのではないのでしょうか。

学生は、通信簿という「成績表」によって、客観的に自分の成績を知ることができます。

会社は、事業活動の成果を1年ごとに作成される「決算書」で知ることができます。決算書は、客観的に会社の経営実態を表します。このため、会社の問題点や改善点、あるいは、優れているところを冷静に知ることができます。

決算書は、会社の「成績表」であり、経営実態を知ることができるデータです。

| | |
|-------|-----|
| 学校の成績 | 通信簿 |
| 会社の成績 | 決算書 |

さまざまな決算書の活用法

決算書は、どのように活用されるのか

決算書は、具体的に誰がどのように活用しているのかをみていきましょう。まず、何といても経営者が活用します。経営者は、決算書で、会社の財産や営業成績を把握し、経営判断に活用します。

銀行は、決算書を融資の判断に積極的に活用します。お金を貸すことが、その会社の事業成長に結びつくのか、の判断資料にするためです。

与信管理としても決算書は有意義です。はじめて取引をする会社が、しっかりとした経営基盤をもっているのか、商品を納品したのち、代金は確実に回収できるのか、決算書を参考に判断できます。

税務署は、決算書に基づいて課税金額を決定します。さらに国や地方自治体の入札業者の選定には、決算書に基づく審査が定着しています。入札に参加させる資格があるか、どうかを決算書で判断するわけです。このように決算書はさまざまなところで、有意義に活用されています。

「決算書なくして、ビジネスを語ることはできない」といっても過言ではないでしょう。

さまざまな決算書の活用方法

